

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ ukiha brand communication ~



平成30年2月11日
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

～ひなの国九州、「第26回筑後吉井おひなさまめぐり」本日開幕～ 白壁の町並みに春到来

春の風物詩といえば、九州各地で開催される「ひなまつり」。第26回を迎える「筑後吉井おひなさまめぐり」が本日開幕し、白壁土蔵の町並みで知られる吉井町の商家など30か所ほどで、この地域独特の「箱雛」や「おきあげ」をはじめとするさまざまなおひなさまが展示されている。イベントは4月3日まで続き、主催者は期間中10万人の人出を見込んでいる。

■問い合わせ 実行委員会（うきは市観光協会）Tel.0943-76-3980



▲ 各部屋にたくさんのひな人形が飾られている市指定文化財「鏡田屋敷」

筑後吉井名物のおひなさま“箱雛”と“おきあげ”

おきあげは歌舞伎や浮世絵を題材に明治から昭和初期に、家々の女性が手作りした。羽子板の押し絵のように下絵を描いて厚紙に写し、綿をのせて着物のはぎり等の布地でくるみ、貼り合わせていく。その中に細く削った竹を取り付け、ワラや畳みのへりに挿して、「箱雛」の周りを彩るように飾った。



編集・送信：うきは市総務課広報係（Tel.0943-75-4980）

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2018.2.11 発表／ひなの国九州、「第26回筑後吉井おひなさまめぐり」はじまる